

ほんげみょうしゆ
本化妙宗（法華經・本門）



『日本の国を祈る』



いつてんしかいかいきみょうほう
一天四海皆帰妙法



立正、即ち安国也

近年国の内外を問わず世界中で気象異常により、地震を始め天変
ちよう ちよう
地夭が多発しています。この災害の多発を仏教的に考えますと、
ふつぎょうてき
人の心の乱れが自然界に連鎖反応して異変を起こしていると見なく
しぜんかい れんさはんのう
てはなりません。

正法を興隆する。即ち法華經の正義を立てる処に国は安ずる。
しょうほう こりちゆう ほうきやう せいぎ た ところ
あくほう しょうほう そし
悪法を信じ正法を誇る時に災禍は生じます。

日蓮聖人「一昨日御書」に云はく、
いちつきくじつごしょ

「而るに専ら正路に背いて偏に邪途を行ず。然る間聖人国を捨て
しか もっぱら せいりょ を ひじえ じゃと ぎやう しか あいだせいじんくに す
善神瞋を成し七難並び起つて四海閑ならず。」
ぜんじんいか な ひちなんなら おこし しかいしずか



現代解釈

それなのに人々は専ら法華經の正しい路に背いて、偏に法華經以外の邪な途を行っている。したがって、聖人は國を捨て去り、善神は曠りをなし、火の難・水の難・悪鬼の難等、七つの難が起こり、世界(四海)の世情が乱れる。

大集經に云はく、「一には穀貴、二には兵革、三には疫病なり。一切の善神も悉く之を捨離せん。」

現代解釈

穀貴(穀飢)は、災害等で米が不作、食料飢餓により生命が危険な状態になる。兵革とは戦争が起こる、疫病とは伝染病が蔓延する、この様な事態であっても一切の善神が悉くその國土を捨てて離れてしまう。



私達は普段の生活の中で、國の事を考える事はあるでしょうか。

我身と我家の安穩を考える事が精一杯で、國の事は政治家がやれば良いと考えてしまいます。それは何処か自分から離れた遠い事になっています。

正法を立てて國を祈れば、立正安國だけではありません、求めなくとも、立正安家も安人も安世も得られます。



「蒙古使御書」に云はく、
一切の大事の中に、国の亡ぶるは第一の大事に候也」

今世界中でテロが多発し、生まれた国を追われた民族が
安住の地を求めてさまよっています。自国がなければ会社も
家も家族も安穩はありません。そう考えれば日本の国に生まれ
た事に感謝し、報恩しなければなりません。

人間は自己中心にしか物事を見たり考えたりする事しか出来ませ
ん。盲目的で理由がない欲望（自分ファースト）は、煩はし悩ます
から「煩惱」と名付けています。

此の本能として持っている煩惱の最強が「貪欲・愚痴・瞋恚」で
これを三毒と云います。

譬えば赤ん坊が母親の「おっぱい」を求めるのは、それは「貪欲」
です。

その適当な加減が解らずに吐くまで飲むのは、「愚痴」です。

途中で授乳を止めると、怒って泣くのは「瞋恚」です。

この欲望は赤ん坊から幼年、幼年から少年・青年・壮年・老年に至る
まで、その時代その境遇で、人の望みや目的は違っても一貫して続
くものです。この三毒強情な人間が、数多く集まって社会生活を営
む場合、他と闘争し、それにより社会は破壊されてしまいます。

自然現象が人々の心の動きに依って起こって来るとはなかなか理解しがたい事だと思えます。ところが、私の一心の中に家庭も社会も国家も世界も全て収まっています。私の一念が「悪の心」を起せば全てに於いて、それが現象となって（目に見える形）現れてきます。



「瑞相御書」に云はく、
「曠患の大小に随って天変の大小あり地天又是の如し」

現代解釈

怒り・憎しみ・怨みなどの憎悪の感情で、天空に起こる異常気象・災害、又地上にも憎悪の感情で同じ様に災害が起こる。この三毒の心を「浄化」し、佛と同じ心に成る様にと、お釈迦様は法華経を説かれました。

妙法蓮華経 方便品第二

「我が如く等しくして異なることなからしめん」



佛が世に出た目的は、「一切衆生を自分（佛）と等しい境地に導く事に依って苦しみから救う」事です。

この地球上で人間と動物の違いは何か？それは人間は様々に考えて行動する事です。人間は「悪の心」を持っていますが、尊い佛の教を学び、その「佛の心に同化」し自分もそうありたいと願います。

ていく事です。



ほつけしよんじょうぶつしょう
法華初心成仏鈔に云はく、

「法華經の大良薬を以て此の大難をば治すべしと見えたり。法華經を以て国土を祈らば上一人より下方民に至るまで悉く悦び榮え給ふべき鎮護国家の大白法也。」

現代解釈

一切經の根本(大白法)である法華經を以て国を祈れば、全ての人が悦び、国は法に依って守られる。

正しい法(法華經)を謗り、欲望(本能)のままに生きた為にその環境を自ら招いた事を懺悔し、国家安穩の上にくそ、個人の安穩・安心が実現出来ず。

日蓮聖人の教を「鏡」としてお題目を唱えれば煩惱即菩提

(欲望即悟り)となります。

「世界全体が幸せにならないかぎり個人の幸せはない。」

南無妙法蓮華經

合掌



毎月第3日曜日に、法華經の法話会を行っています。
聴聞は、どなたでも参加出来ます。是非お越し下さい。

大阪府八尾市服部川933 天龍山一の谷 安國寺

電話 (072)941-8201

<http://www.eonet.ne.jp/~renshou-douju/index.html>

パワースポット「一塔合安 妙宗靈廟」で検索お願い

(本化妙宗 安國寺 知恩報恩推進委員会)